

課題：改植による果樹産地の活性化支援（ユズ）

ねらい

那賀町ではゆず樹の幹が陥没、腐朽する「幹腐病」が多くの園地で発生し、樹勢の低下や積雪による枝折れなど生産力の低下が課題となっています。

このため、幹腐病罹病樹の樹勢回復対策技術の普及に努めており、罹病樹の病班削り取りや徒長枝による主枝更新技術は既に普及しています。しかし、幹腐病を園地から根絶するためには、老木樹や重症樹の改植を実施するとともに、苗木植え付け時から継続して感染予防対策を徹底する必要があります。

このため、関係機関と連携して罹病樹や老木樹の改植推進ならびに改植後の幼木防除対策の普及に重点を置いた活動を行いました。

活動地域・対象

- ①対象地域：那賀町
- ②対象者：ゆず生産者

普及活動の目標

- ①幹腐病防除対策技術の普及
- ②幹腐病重症樹や老木樹の改植による産地の若返りと生産性の向上

目標に向けた活動概要

- ①改植樹防除対策の推進
 - ・防除対策の実証展示
 - ・防除技術の周知
 - ・幹腐病対策マニュアルの作成・配布
- ②罹病樹の樹勢回復による生産性向上対策の推進
 - ・徒長枝を利用した主枝更新
- ③改植の推進
 - ・幹腐病重症樹や老木樹の「果樹経営支援対策事業」および「果樹未収益期間支援事業」を利用した改植の推進



実証展示園の発病調査



対策マニュアルの作成・配布

普及活動の成果

①実証展示園における発病調査

那賀町内4カ所の実証展示園の幹腐病発病調査を行ったところ、明かな病斑はみられず、幹腐病対策防除の効果が確認できました。

②改植樹防除対策の推進

講習会において幹腐病対策技術を周知することにより、改植園地の予防対策を推進しました。

③改植の実績

「果樹経営支援対策事業」等を利用した改植の推進

- ・那賀町の改植実績 4.0ha (H21～24年度実績および計画)



幹腐病対策実証展示園

(防除マニュアルを実践して健全なゆず園が育成されています。)

用語
説明

幹腐病：木材腐朽菌がゆずの枝幹に感染することにより発生する病気であり、樹勢が低下したり、最終的に枯死に至ることもあります。

今後の発展方向

- ・幹腐病対策展示園において対策技術を継続実証することにより、生産者への防除効果の周知と対策実施の徹底します。
- ・「果樹経営支援対策事業」等を利用して重症樹や老木園の改植を推進し、幼木防除対策や罹病樹の徒長枝を利用した主枝更新技術の指導を継続します。

関係者からの声

ゆず生産者から「幹腐病」対策に対する要望は多く、関心は高い。
他の病害虫と異なり、感染から発病まで年数がかかり、対策も予防防除が中心となることから、防除効果を実感しづらい。

高度農業支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel : 088-674-1922